

基本方針 4

豊かなつながり

都心に生きる人々に
活気とやさしさを与える

スケール	キーワード	ページ
地域	35. 大きな人の輪・・・・・・・・・・	84
	36. あかりをつなげる・・・・・・・・	86
街区	37. つなげるやさしさ・・・・・・・・	88
	38. 祭りの場・・・・・・・・・・	90
	39. 夜のにぎわい・・・・・・・・・・	92
	40. 向こう三軒両隣り・・・・・・・・	94
	41. 子どもの笑い声・・・・・・・・・・	96
	42. 人が集う場所・・・・・・・・・・	98
外構	43. 小さな人だまり・・・・・・・・・・	100
	44. 居心地の良い場所・・・・・・・・	102
	45. 座れる場所・・・・・・・・・・	104
	46. 安心のあかり・・・・・・・・・・	106
建築	47. 人の気配・・・・・・・・・・	108

35. 大きな人の輪



皇居乾通り一般公開

地域には、大きなお祭りや自然に人が集まり、
交流できたりするような場所があることで、
人と人とのつながりが生まれる。
その人の輪は世代の交流を生み、
緊急時にも役立つまちにとって不可欠な共有財産となる。

方針

地域の中で、お祭りや集会、避難場所などの様々な場面で多くの人々が安心して集うことができる公共的な場所を大切にする。道路や公園などの公共の場所は、地域性を踏まえて利活用する。

！ ヒント

エリアマネジメント、地域のお祭り、集会、避難場所、広場 など



▲パレスサイクリング



▲千代田区内濠周回駅伝大会



◀東京区政会館
(飯田橋三丁目)

36. あかりをつなげる



大丸有周辺の夜景

人々が安心して暮らすためには、夜間の安全が欠かせない。
まちのあかりとみちのあかりがつながって
夜を行き交う人々が安心して通行できるようなまちでは、
自然とあたたかい交流も生まれてくるだろう。

方針

地域の中に暗闇をつくりださないように気を付ける。
各敷地や街区のあかりは、単体の照明として考えるのではなく、周辺のあかり
とつながってあたたかい街並みが連なるように心掛ける。

！ ヒント

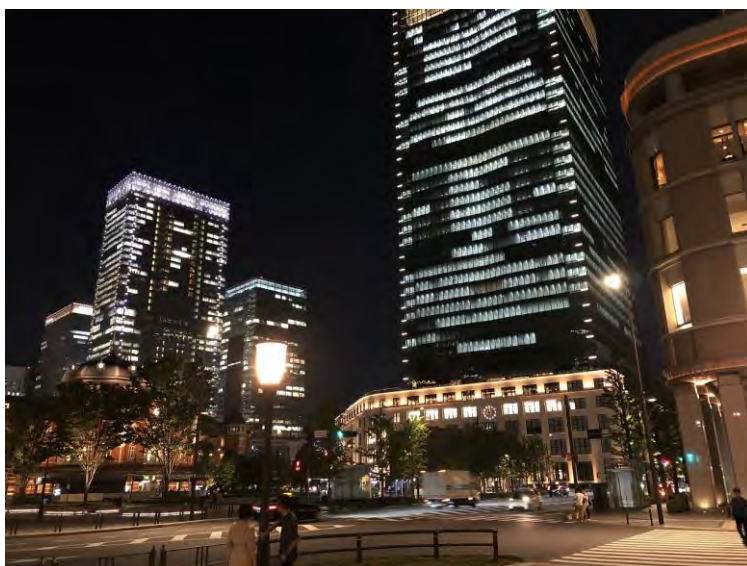
街灯、門灯、防犯効果、連続性、色温度の統一、リレーデザイン など



◀大丸有のビルの光

中高層部の人の活動を表す光と頂部における統一的な光が作り出す夜景。

東京駅周辺の夜景▶



◀秋葉原のビルの光

広告物の照明がつくる夜景。

37. つなげるやさしさ



神田駅西口商店街の打ち水

住み慣れたまちに住み続けられることは、誰にとっても切実な願いである。
誰もが、地域のなかのコミュニケーションや、
まちの活動に参加できる機会や場所をつくる必要がある。
子ども、若者、お年寄り、障がいを持つ人、
様々な人が同じ空間を共有できるまちでは
思いがけない出会いや心温まる交流が生まれ、それがまたまちを豊かにする。

方針

行きたい場所・行かなければならない場所へいたる安全でやさしい歩行路や交通環境を整える。また、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインを意識した空間づくりを心掛ける。

更に、地域やコミュニティ、それぞれの建物で子どもや若者と接することができる機会や場所を設ける。

！ ヒント

バリアフリー、ユニバーサルデザイン、孤立を感じさせない空間、手すり、スロープ、コモンスペース、床の材質 など

番町の庭（四番町）▶

暫定利用を通して地域に必要な機能を発見する。



◀九段坂公園

（九段南二丁目）

高低差のある公園にバリアフリー用のスロープを設置する。

ワテラス▶

（神田淡路町二丁目）

大規模開発では公開空地を柔軟に利用できる場所として整備し、多世代交流のきっかけをつくる。



38. 祭りの場



ワテラス（神田淡路町二丁目）

祭りは、地域の人にとって大切な出来事であり、地域の活力やコミュニティのつながりを確認する重要な催事でもある。千代田区における独自の祭りのなかには古本祭り、繊維問屋街祭り、電気街祭りなどもあり、伝統的な祭りと相まって、広域的なコミュニティ意識の育成や強化にも役立っている。

方針

地域に根付いた祭礼を通じて、住む、働く、集う様々な立場の人々が一同に交流できる場として、祭りの場を尊重する。そのために、通り、歩行路、広場、各所施設などが祭りの場や舞台などを提供できるようにする。

！ ヒント

お神輿ルートに面する建物や広場、道路の祭礼・催事での活用、道路空間利活用、神輿倉庫 など



▲山王祭り

国立劇場の前の広場を祭りの場として活用している。



◀神保町古本祭り

道路が祭りの場として利活用されている。

岩本町・東神田▶
ファミリーバザール



39. 夜のにぎわい



丸の内仲通り

昼間に人が集中する業務地区で、仕事が終わった後、その周辺でにぎわう場所があると、働く人々にとってのオアシスとなる。精力的な都心の昼間の活動を支える場所には、安心して歩き、集える、夜のくつろぎとにぎわいの場所が必要である。

方針

業務地区に近接して、夜、飲食や歓談など、仕事を越えた人付き合いができる場所、あるいは観劇、買い物、娯楽などを楽しめる場所が用意されることが望ましい。そこには安全な歩行路の確保や各種店舗の集中をはかる。

！ ヒント

多様な用途、ショーウィンドウ、低層部のにぎわいの連続性、イルミネーション、プロジェクションマッピング、広告照明 など



◀ 丸の内

丸の内仲通りの裏の静かなにぎわい。素材感のある壁を照らし、オーニングを出して居場所をつくる。

秋葉原 UDX▶ (外神田四丁目)

イルミネーションと一体的に店の明かりによるにぎわいが滲み出す。



◀ 日比谷ミッドタウン (有楽町一丁目)

広場とイルミネーションを組み合わせることで、癒しの空間とにぎわいの場をつくる。

40. 向こう三軒両隣り



神保町古書店街（神田神保町一丁目）

共有空間である道路をはさんで、
向こう側三軒と左右、両隣で構成する単位は
江戸以来継承されてきた都市を構成するための最小単位と言える。
この親密な関係が連鎖的につながることで、
道路の両側に町（ちょう）を構成する。

方針

道路や広場などの共有空間をはさんで両隣に成り立つ単位のまとまりを最大限尊重する。つまり、『向こう三軒両隣り』のユニットのなかでそれぞれの敷地利用、建物のあり方を意識し、考えつなげていく。

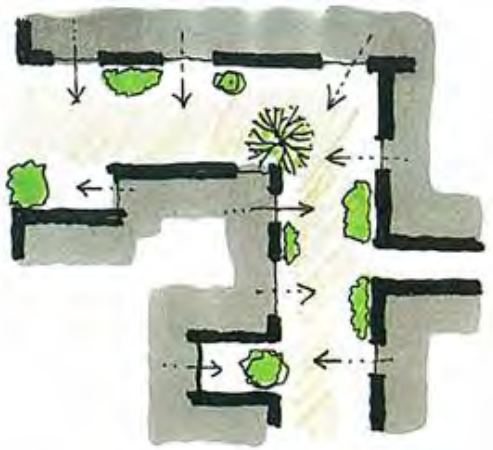
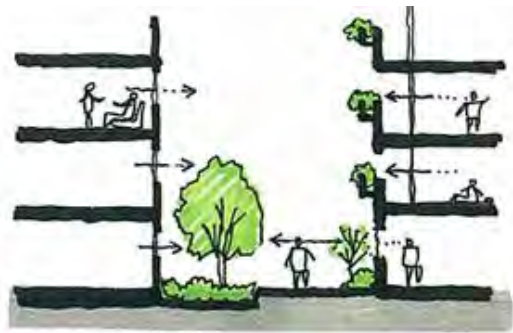


ヒント

低層部・スカイラインのつながり、建物規模や間口などの形・素材・色彩の統一、窓などの開口部の位置や大きさへの配慮、リレーデザイン、配棟計画 など

事例

建物と建物の関係、建物と屋外空間との関係を良好にするために窓などの開口部の位置や大きさなどに配慮すると良い。



◀ 神田の老舗集積地
(神田須田町一丁目)

昔ながらの玄関先の緑化等が風情と互いへの配慮を感じさせる。



▲ マーチエキュート神田万世橋(神田須田町一丁目)、万世橋出張所(外神田一丁目)
万世橋駅のレンガ橋という遺構を残しつつ、対岸にレンガを利用した建物を計画する。

41. 子どもの笑い声



和泉公園（神田和泉町）

まちで働く大人や地域の人たちのあたたかい見守りの目があれば、
子どもたちは安心して遊ぶことができる。
公園や施設内だけではなく、
まち全体が冒険心にあふれて探検できるように工夫されていれば、
子どもたちの笑い声が絶えないまちになる。

方針

子どもたちが車などから安全に守られ、周辺地域からも多くの目が注がれるように歩行路や広場を計画する。
その場所には、地域社会の様々なシーンに遭遇できるような工夫やきっかけが必要となる。

！ ヒント

人の気配が感じられる空間、地域の見守りの目、防犯、子どもが歩ける場所、
コミュニティ道路、通学路、遊び場、公開空地 など



◀ 淡路公園

(神田淡路町二丁目)

公園内にアートを展開するイベントで子どもの活動を促す。



▲ 行幸通り

道路という空間で安全に子どもが過ごせるように工夫する。

靖国通り▶

歩道を安全に子どもが通行できるように工夫する。



42. 人が集う場所



有楽町駅前広場（有楽町二丁目）

まちかどに人々が自然と集まれるような結節点があると、そこに住み、働く人々にとっての活動の中心となる。まちの結び目となる結節点は、人々をつなぎ、むすびつけ、あたたかいまちを育んでいく。

方針

主要な歩行路が交わる場所では、大規模開発に合わせて、住み、働き、集う人々のために活動の中心となる場所を生み出すようにする。またその周辺には公共施設や、商店などを組み合わせて配置することが望ましい。

！ ヒント

公開空地、駅前広場、コモンスペース、アトリウム、パブリックスペース、地上・地下のネットワーク、道路空間利活用、エリアマネジメント など



▲東京サンケイビル（大手町一丁目）

人が集うきっかけとして、日常的なキッチンカー、イベント時のステージトラックなどが乗り入れられるように広場の基盤をつくる。



▲東京国際フォーラム（丸の内三丁目）



▲丸ビル（丸の内二丁目）

大手町プレイス▶
（大手町二丁目）

地上と地下の結節点となるサンクンガーデンに店舗を染み出させる。



43. 小さな人だまり



丸の内仲通り

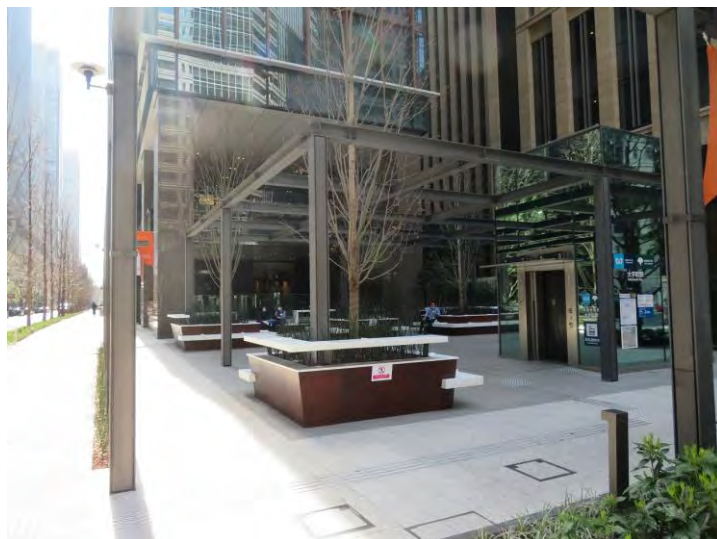
人通りの多い表通りや、人がよく集まる広場では、人の流れから少しはずれた所に小さな場所があると、様々な屋外活動に触れながら、ひとときのくつろぎや会話が楽しめる。

方針

主な人々の流れから少しはずれた位置に、立ち止まり、話したり、待ち合わせたり、ひと休み…などを考慮した、たまりの場所を設ける。その場所は一部囲むことによってなお居心地の良い場所となる。

！ ヒント

樹木やモニュメント、小さなベンチ、街灯、アルコーブ など



◀丸の内テラス
(丸の内一丁目)

立っても座っても使えるストリートファニチャーなどの工夫により人の居場所をつくり出す。



◀紀尾井町 PREX
(麹町四丁目)

スペースに限りがある敷地でもレンガスクリーンや植栽などを組み合わせて、ひと休みできる場所をつくる。



◀明治大学
(神田駿河台一丁目)

大きな規模の公開空地内に緑豊かで人の流れから少し離れた空間を設える。

44. 居心地の良い場所



日比谷公園（日比谷公園）

日差しの強い日、人々は木陰で暑さをしのぐ。
雨の降る日、傘を忘れた人々が屋根の下に集まる。
冬の寒い日、陽のあたる場所で人々は暖をとる。
人々がたたずみ、憩うことができる居心地の良い空間は、
まちかどの情景を豊かにする。

方針

公共的な広場や水辺に面する場所では、陽が当たるように建物の配置や形状、外構計画に配慮する。

日陰や雨宿りできる場所も大切にし、様々な自然環境の中でも心地よく過ごせる空間をつくりだす。

！ ヒント

風の抜け、半屋外空間、木陰、入口の庇、日除け、パラソル、ウッドデッキ など

東京ミッドタウン日比谷▶
(有楽町一丁目)

公開空地と街路とを一体で考えれば、建物から出るオーニングの下に気持ちの良い場所ができる。



◀東京駅丸の内駅前広場
(丸の内一丁目)

木陰を計画し人が安らぐ場所をつくる。

丸の内仲通り▶

期間限定で区道を芝生で覆うなどして、自然を感じるまちの新しい居心地を試す。



◀住友不動産秋葉原
ファーストビルの
公開空地
(外神田一丁目)

パラソルなどで公開空地に人が留まれるきっかけをつくる。

45. 座れる場所



日比谷ステップ広場（有楽町一丁目）

まちを歩いてみると、
座って一息入れられるような場所が思ったより少ないことに気付く。
人々の活発な屋外活動を支える要素として、
まちの所々に座ることのできる場所が必要である。

方針

人々の活動の接点には、落ち着いて座れる場所をできるだけ設ける。
座れる場所は、人の気配が感じられ、景色などを眺めることができる場所に設ける。

！ ヒント

安全に落ち着いて座れる場所、適度な囲われ感、ストリートファニチャー、ベンチ、
階段の段差、腰壁、芝生 など



▲神田スクエア（神田錦町二丁目）



▲ワテラス（神田淡路町二丁目）

座れる場所は植栽とセットで考える。

大手町川端緑道▶

ベンチを置くだけでなく、材料の形状を工夫し何気なく腰を降ろせるような仕掛けをつくる。



▲新三崎橋橋詰（神田三崎町三丁目）

まちの角になる所には休める場所をつくる。

46. 安心のあかり



住友不動産秋葉原ファーストビルの公開空地（外神田一丁目）

人は暗闇を恐れる生物である。

敷地内から敷地外に漏れ出す照明灯や門灯、建築内部の光は
まち行く人々を安心させ、安全に通行させる灯台のようである。

灯台がいたるところにあれば、

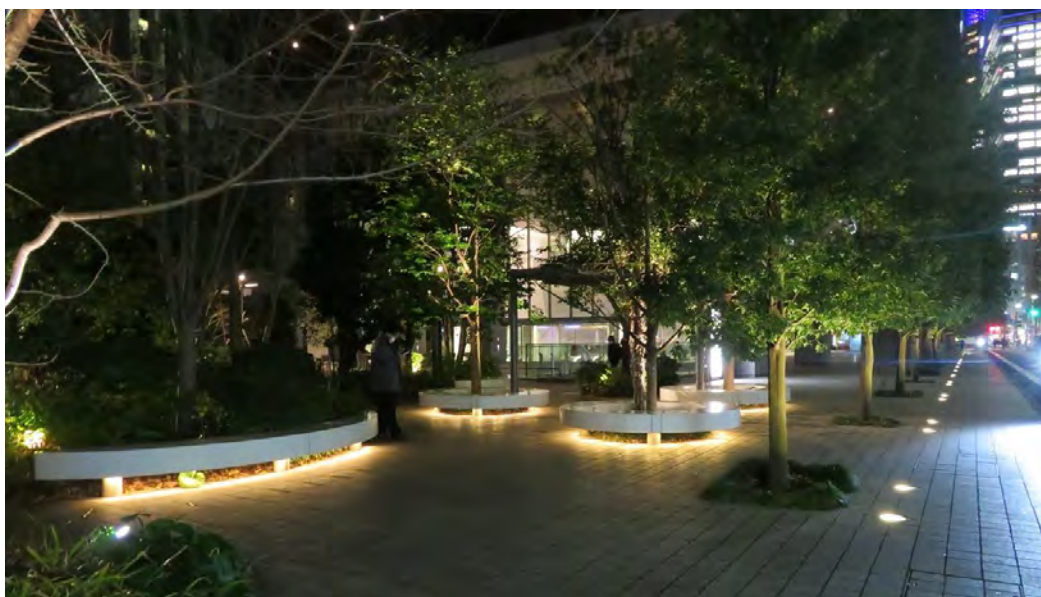
みんなが安心・安全に夜を過ごせるやさしいまちになる。

方針

門や玄関に外灯を設置したり、敷地内の照明が敷地外に漏れ出るようにすることで、敷地の周辺を明るくし、人々が安全・安心に通行できる空間となるよう心掛ける。

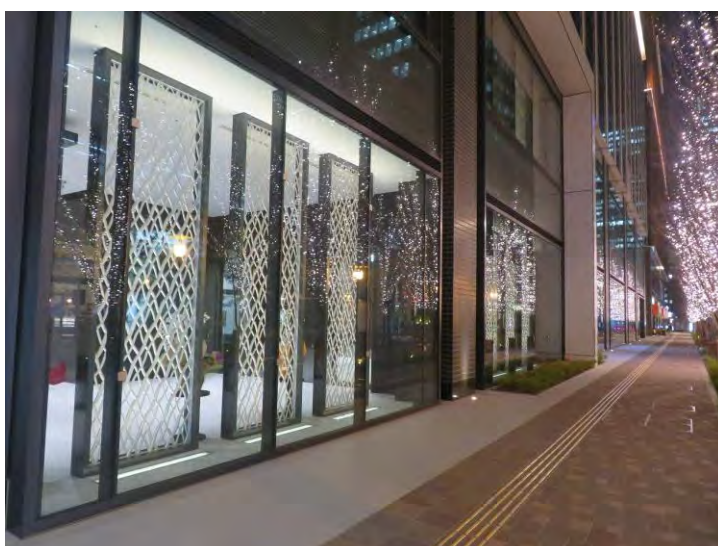
！ ヒント

門灯、玄関灯、庭園灯、外灯、窓あかり、間接照明、省エネルギー機器 など



▲飯野ビルディング（内幸町二丁目）

舗装に埋め込まれたフットライトとベンチの下から漏れる光が安心をもたらす。



◀丸の内テラス
（丸の内一丁目）

銀行のように閉じられやすい用途でも、歩行者の安全などを考え、外に光が漏れ出すように工夫する。



▲新お茶の水ビルディング
（神田駿河台四丁目）

ショーウィンドウの照明のリバウンド効果を活かして道路面を照らす。



▲神田スクエアフロント
（神田錦町一丁目）

47. 人の気配



三菱信託銀行本店ビル（丸の内一丁目）

人の気配が感じられない広場や建物は、まちに活気を与えない。
活動する人々を風景として見ることで、
そのまちの魅力や個性に触れることができる。
広場や建築から興味深い出来事や活動が感じられれば、
人々の生活情景はより豊かになる。

方針

通りや広場に面した建物の低層部は内部の活動や気配が感じられるように開口部を設けることを原則とする。
建物の中と外の間の『見る』、『見られる』という相互関係は、適度な緊張感も生み出す。

！ ヒント

開放的な壁面、ガラス張り、ショーウィンドウやギャラリー、オープンテラス、ピロティ など



▲飯田橋グラン・ブルーム（富士見二丁目）

ガラスなどの大きな開口部から感じられる人の気配は、室内の家具の配置によって決まる。

パークホームズ▶

千代田淡路町

（神田須田町一丁目）

共同住宅のエントランス
ながら、接道面に大きな開口を設け、まちに開いた印象をつくり出す。



◀集英社

（神田神保町三丁目）

ガラスファサードにより人の気配を感じることができる
設えとする。